

2023 年度長野県機械系製造業売上高ランキング〈上位 50 社〉**上位 50 社の総売上高は 3 兆 2889 億円、3 年ぶりに減少
過去 2 番目の高水準ながら、前年度比 4.0%減少****はじめに**

長野県内に多数集積する機械系製造業は、海外の動向も含め景気の動きに敏感に反応し、大きく上下動する特徴を持つ。2023 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が緩和されたことで、凍結、延期されていた設備投資は再開され、人流の回復も進んだ。一方、中国市場の悪化や人手不足の深刻化、リベンジ消費の反動など、長野県企業への逆風も続いた。

その厳しい環境のなかで、長野県内企業の景気 DI (TDB 景気動向調査) は、2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの毎月、前年同月の水準を下回り、2022 年 4 月から 8 月まで 1 位であった 47 都道府県別順位も 26 位から 39 位の間で低迷した。

2024 年 7 月に行った「2023 年度長野県企業売上高ランキング (全業種・上位 100 社)」では、100 社の総売上高は前年度を 0.5%上回り過去最高になった。しかし、業種別でみると、「建設業」の売上高が同 22.2%増えた一方で、「製造業」は同 4.8%減少し、100 位にランクインした企業は 3 社減り、「製造業」の低迷がうかがえた。

帝国データバンク長野支店では毎年度、県内機械系製造業者を対象とした売上高ランキング (上位 50 社) を作成しているが、今回 2023 年度 (2023 年 4 月～2024 年 3 月) に到来した各社の決算期における売上高を対象に最新のランキングを作成した。連結決算を行っている企業も、すべて単体の数字を採用している。なお、機械系製造業とは日本標準産業分類で「機械製造業」「電気機械器具製造業」「輸送用機械器具製造業」「精密機械、医療機械器具製造業」に該当する業種。

調査結果 (要旨)**■上位 50 社の総売上高は 3 兆 2889 億円、過去 2 番目の高水準ながら 3 年ぶり減少**

2023 年度長野県機械系製造業売上高ランキングにおける上位 50 社の総売上高は 3 兆 2889 億 9000 万円。集計を始めた 2000 年度以降で 2 番目の高水準となった。ただし、前年度比 4.0%の減少になった。

■売上高トップはセイコーエプソン、新たに 1 社がランクイン

売上高トップはセイコーエプソン (株) (諏訪市)。調査開始以来 24 年連続してトップの座を維持している。ミネベアミツミ (株) (御代田町)、新光電気工業 (株) (長野市)、(株) 竹内製作所 (坂城町)、ニデックインスツルメンツ (株) (下諏訪町)、ルビコン (株) (伊那市) までの上位 6 社の順位は前年度と変わっていない。前回 50 位圏外からランクインしたのは 1 社。

■増収企業 27 社、減収企業 22 社、増収が前年度から 11 社減少

50 社のうち、増収となったのは 27 社、減収が 22 社 (1 社は比較せず)。増収企業は前年度の 38 社から 11 社減少、減収企業は前年度の 9 社から 13 社増加した。

1. 上位 50 社の総売上高は 3 兆 2889 億円、過去 2 番目の高水準ながら 3 年ぶり減少

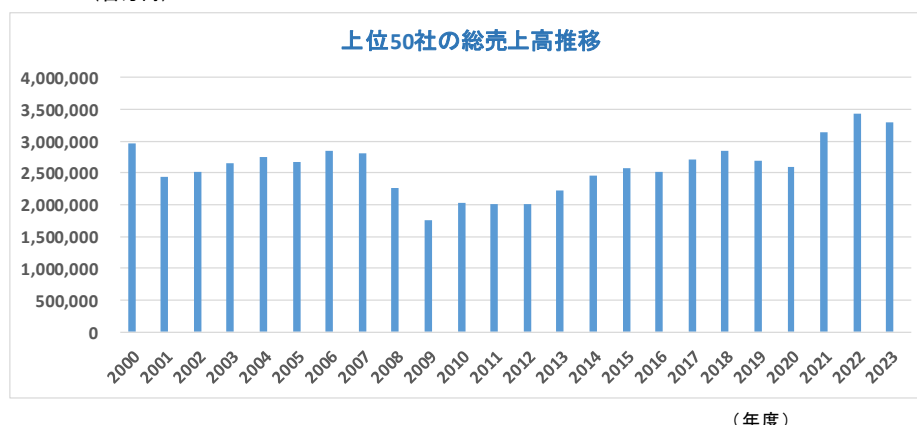
2023 年度決算（2023 年 4 月期～2024 年 3 月期）を対象とした県内機械系製造業売上高ランキング。上位 50 社の総額は 3 兆 2889 億 9000 万円と、過去最高であった前年度の売上総額から 1369 億 5800 万円、率にして 4.0%減少した。3 年ぶりに減少したが、過去 2 番目の高水準であった。

過去の推移をみると、総売上高が最も小さかったのは、2009 年度の 1 兆 7614 億 6400 万円。機械系メーカーは海外経済との関係が深いのが、2008 年に発生したリーマン・ショック後、世界経済が急激に冷え込んだ影響を受け、大幅に落ち込んだ。その後は増加基調に転じ、2018 年度には 2 兆 8445 億 3700 万円まで上昇したが、2019 年度は米中貿易摩擦の激化、2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大と相次いで逆風に直面し、2 年度連続で減少した。コロナによる経済悪化が底となったのは 2020 年。以降、経済は回復局面に入り、国内外の需要を取り込む一方、新たなニーズにも対応して売り上げを伸ばす機械系メーカーが目立った。輸出関連企業にとっては円安も追い風となり、2022 年度も売上増は続いたが、原油・原材料価格の高騰や半導体不足の影響から、伸びは鈍化し、2023 年度では中国市場の悪化や、中東の混乱など海外情勢の影響もあり減少に転じた。

上位50社の年度総売上高の推移

年度	総売上高（百万円）	前年度比
2000	2,960,925	—
2001	2,432,201	-17.9%
2002	2,515,831	3.4%
2003	2,644,186	5.1%
2004	2,747,692	3.9%
2005	2,672,613	-2.7%
2006	2,851,763	6.7%
2007	2,818,464	-1.2%
2008	2,270,090	-19.5%
2009	1,761,464	-22.4%
2010	2,032,298	15.4%
2011	2,014,562	-0.9%
2012	2,008,978	-0.3%
2013	2,235,054	11.3%
2014	2,458,009	10.0%
2015	2,571,334	4.6%
2016	2,526,271	-1.8%
2017	2,711,178	7.3%
2018	2,844,537	4.9%
2019	2,689,504	-5.5%
2020	2,603,217	-3.2%
2021	3,134,575	20.4%
2022	3,425,948	9.3%
2023	3,288,990	-4.0%

（百万円）



2. 売上高トップはセイコーエプソン、新たに 1 社がランクイン

2023 年度の長野県機械系製造業売上高ランキングトップは、セイコーエプソン（株）（諏訪市）。2024 年 3 月期は 8577 億 8000 万円と前期比 11.6%の減収になったが、調査を開始した 2000 年度以来トップの座を維持した。2 位のミネベアミツミ（株）（御代田町）は、同 9.8%増の 7944 億 2300 万円。セイコーエプソンとの差は 633 億円強にまで縮小した。以下、新光電気工業（株）（長野市）、（株）竹内製作所（坂城町）、ニデックインスツルメンツ（株）（下諏訪町）までの上位 5 社は 2019 年度から 5 年間順位が変動していない。上位 10 社中はずべて、20 社中では 19 社、30 社中では 28 社が前年度と同じ顔ぶれで、売り上げ上位企業に大きな変動はなかった。なお、上位 50 社中、今回新たにランクインしたのは 1 社であった。

3. 増収企業 27 社、減収企業 22 社、増収が前年度から 11 社減少

50 社のうち、増収となったのは 27 社、減収が 22 社。増収企業は前年度の 38 社から 11 社減少、減収企業は前年度の 9 社から 13 社増加した（今年度は 1 社が会計方法、前年度 3 社は会計基準や決算期変更により伸び率不算出）。増収 27 社のうち、「10%以上増」が 10 社、「20%以上増」が 4 社、「30%以上増」が 2 社であった。

伸び率が最も大きかったのは、V A I O（株）（安曇野市）。主にパソコン事業では国内大企業向け（法人向け）の出荷台数が大きく増加したことで、前年度比 59.6%増となった。次いで半導体市場の拡大を見据えた受注が好調だった不二越機械工業（株）（長野市）が同 30.1%増加した。

伸び率順位	総合順位	社名	所在地	伸び率
1	15	V A I O（株）	安曇野市	59.6%
2	32	不二越機械工業（株）	長野市	30.1%
3	34	上松電子（株）	上松町	26.7%
4	4	（株）竹内製作所	坂城町	22.7%
5	41	マクセルイズミ（株）	松本市	16.0%

4. 地区別では「南信」が件数、総売上高ともにトップ

地区別にみると、社数は「南信」が 15 社で最も多く、「北信」14 社、「東信」12 社、「中信」9 社。企業の入れ替わりはあったが、前年度と各地区別の企業数は変わらなかった。総売上高は、「南信」が前年度比で 11.2%減ったものの、全体の 38.3%を占めた。伸び率では「中信」が同 13.7%と最も伸びた。10 年度連続して伸びていた「北信」はマイナスに転じた。

業種別では、社数は「一般機械」が 21 社と 1 社減ったがトップを維持。「電気機械器具」が 1 社増えて 19 社となり続いた。総売上高は「電気機械器具」が同 10.6%減ったが全体の 47.0%を占めた。以下、同 2.5%増加した「一般機械」が 46.2%を占めた。なお、「電気機械器具」を除く 3 業種で総売上高は増加した。

地区別内訳（売上高単位：百万円、構成比・前年度比単位：%）

	2022年度		2023年度					
	社数	総売上高	社数	構成比	前年度増減	総売上高	構成比	前年度比
北 信	14	728,239	14	28.0	-	654,855	19.9	-10.1
東 信	12	1,080,345	12	24.0	-	1,148,290	34.9	6.3
中 信	9	198,529	9	18.0	-	225,697	6.9	13.7
南 信	15	1,418,835	15	30.0	-	1,260,148	38.3	-11.2
合 計	50	3,425,948	50	100.0	-	3,288,990	100	-4.0

業種別内訳

（売上高単位：百万円、構成比・前年度比単位：%）

	2022年度		2023年度					
	社数	総売上高	社数	構成比	前年度増減	総売上高	構成比	前年度比
一般機械製造業	22	1,482,410	21	42.0	-1	1,518,768	46.2	2.5
電気機械器具製造業	18	1,730,819	19	38.0	1	1,547,255	47.0	-10.6
輸送用機械器具製造業	6	138,141	6	12.0	-	146,654	4.5	6.2
精密、医療機械器具製造業	4	74,578	4	8.0	-	76,313	2.3	2.3
合 計	50	3,425,948	50	100.0	-	3,288,990	100.0	-4.0

2023年度（2023年4月期～2024年3月期）長野県機械系製造業売上高ランキング

順位	前年度 順位	社名	所在地	決算 (月)	売上高 (百万円)	伸び率
1	1	セイコーエプソン（株）	諏訪市	3	857,780	-11.6%
2	2	ミネベアミツミ（株）	御代田町	3	794,423	9.8%
3	3	新光電気工業（株）	長野市	3	202,350	-26.8%
4	4	（株）竹内製作所	坂城町	2	192,847	22.7%
5	5	ニデックインスツルメンツ（株）	下諏訪町	3	96,351	-5.8%
6	6	ルビコン（株）	伊那市	3	56,716	-14.4%
7	8	シチズンマシナリー（株）	御代田町	3	55,620	2.5%
8	10	（株）ミマキエンジニアリング	東御市	3	52,452	1.8%
9	7	K O A（株）	箕輪町	3	50,518	-16.6%
10	9	シナノケンシ（株）	上田市	2	45,029	-15.8%
11	11	多摩川精機（株）	飯田市	11	44,670	-3.8%
12	12	（株）I H I ターボ	大桑村	3	44,204	3.1%
13	18	オリオン機械（株）	須坂市	3	39,536	11.1%
14	19	富士電機パワーセミコンダクタ（株）	松本市	3	36,154	4.4%
15	29	V A I O（株）	安曇野市	5	35,802	59.6%
16	13	櫻山工業（株）	佐久市	3	35,382	-16.1%
17	16	日精樹脂工業（株）	坂城町	3	32,363	-12.7%
18	17	（株）キョウデン	箕輪町	3	32,258	-11.7%
19	15	F I C T（株）	長野市	3	32,058	-16.6%
20	20	日置電機（株）	上田市	12	31,459	8.5%
21	22	長野計器（株）	上田市	3	29,227	9.0%
22	21	アート金属工業（株）	上田市	3	26,459	-5.3%
23	25	東洋計器（株）	松本市	3	25,993	8.6%
24	28	（株）デンソーエアクール	安曇野市	3	24,438	8.5%
25	24	長野日本無線（株）	長野市	12	23,588	-2.3%
26	27	エムケー精工（株）	千曲市	3	23,580	4.7%
27	32	日精エー・エス・ビー機械（株）	小諸市	9	22,771	15.1%
28	26	長野電子工業（株）	千曲市	2	22,345	-4.6%
29	31	タカノ（株）	宮田村	3	22,092	10.2%
30	30	松山（株）	上田市	12	22,064	2.4%
31	34	（株）城南製作所	上田市	3	21,533	11.4%
32	37	不二越機械工業（株）	長野市	2	20,627	30.1%
33	35	（株）都筑製作所	坂城町	3	18,404	4.8%
34	41	上松電子（株）	上松町	9	16,711	26.7%
35	33	（株）日本ピスコ	岡谷市	9	15,866	-19.1%
36	38	（株）I H I アグリテック	松本市	3	15,744	3.7%
37	36	仁科工業（株）	長野市	3	14,876	-7.6%
38	40	（株）鈴木	須坂市	6	14,568	-
39	39	（株）伸光製作所	箕輪町	3	14,291	-5.0%
40	42	野村ユニソン（株）	茅野市	5	13,949	6.7%
41	47	マクセルイズミ（株）	松本市	3	13,342	16.0%
42	23	（株）S I M M T E C H G R A P H I C S	茅野市	12	13,329	-45.0%
43	43	（株）サンコー	塩尻市	3	13,309	8.5%
44	44	（株）ライト光機製作所	諏訪市	8	12,128	-0.2%
45	45	マルヤス機械（株）	岡谷市	12	12,108	3.4%
46	48	上田日本無線（株）	上田市	12	11,871	7.5%
47	50	信州航空電子（株）	松川町	3	9,127	-1.1%
48	-	（株）青木固研究所	坂城町	2	8,973	12.1%
49	46	（株）n i t t o h	諏訪市	3	8,965	-23.2%
50	49	（株）アルプスツール	坂城町	12	8,740	-11.2%

- ・ランキングは、2024年8月20日までに判明したデータに基づいて作成した。
- ・前年度順位が「-」は50位圏外
- ・（株）鈴木は、会計方法を変更したため、伸び率を不算出とした。

まとめ

2023 年度は、新型コロナウイルスの影響の緩和により、凍結もしくは延期されていた投資の再開や人流の増加、円安による輸出産業の好調な動きのほか、コスト上昇に連動する形で販売価格が上昇した。一方、中国市場の悪化やロシアのウクライナ侵攻、中東情勢の混乱、リベンジ消費の反動などの逆風もあった。

結果、長野県における機械系製造業売上高上位 50 社企業の総売上高は調査開始以来、2 番目の高水準になった。しかし、前年度比では 4.0%減少し、3 年ぶりのマイナスになった。トップのセイコーエプソン（株）の減少額（1122 億 1900 万円）と 3 位の新光電気工業（株）の減少額（742 億 3100 万円）が全体を押し下げたことも要因であるが、増収企業が 11 社減り、減収企業が 13 社増えたことから全体的な縮小がうかがえる。

これは、帝国データバンク景気動向調査にも反映されており、長野県内企業の景気 D I における「製造業」の業種別 D I は、2023 年 4 月から 2024 年 3 月まで 33.8 から 38.9 の低水準で推移し、各月前年同月を下回り続けた（50 が良否の境界）。業種別 D I については、4 月以降も 7 月に至るまで 40 を下回る低迷が続いており、今後の不安材料となっている。今後、為替変動により円安メリットが薄らぐことも推測される中で、新たな受注確保のほか、人件費や燃料費などコスト上昇をいかに販売価格に転嫁し、売り上げ増加に結び付けられるかが注目される。

株式会社帝国データバンク 長野支店 担当：中澤 敏哉

TEL 026-232-1288 FAX 026-232-5383

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。